

2020年5月15日

各位

「十六ともに未来ファンド」の組成について

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、岐阜・愛知・三重の3県下に発令された緊急事態宣言は解除されることとなりましたが、未曾有の経済・社会活動の停滞を受けて、多くの事業者の皆さまは、引き続き厳しい経営環境に置かれておられます。

こうした状況を踏まえ、このたび株式会社十六銀行（頭取 村瀬幸雄、以下「当行」といいます。）は、事業者の皆さまが財務基盤を強化しながら、迅速に資金を調達することのできる「十六ともに未来ファンド」（十六ともに未来投資事業有限責任組合、以下「本ファンド」といいます。）を組成しますので、お知らせいたします。

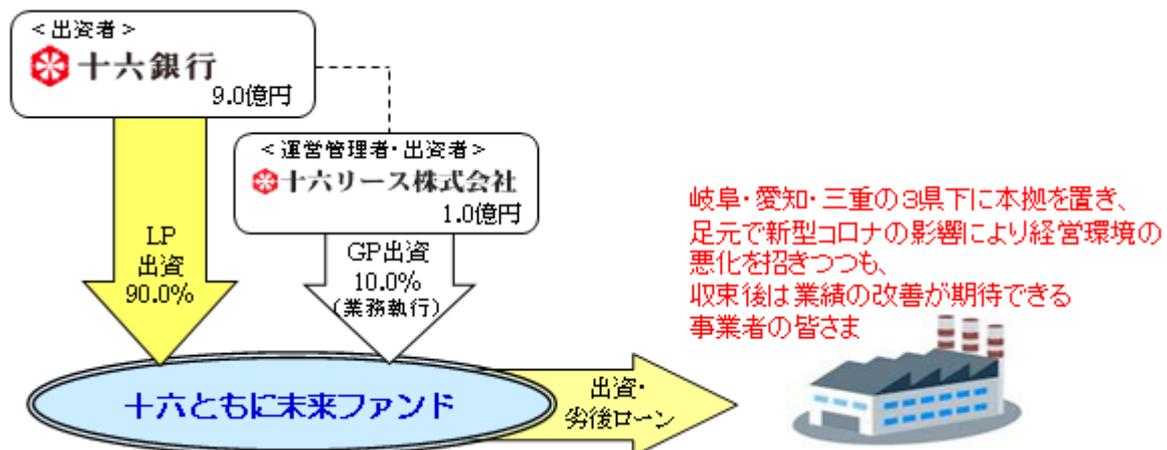
本ファンドは、上記3県下に本拠を置き、足元で新型コロナの影響により経営環境の悪化を招きつつも、収束後は業績の改善が期待できる事業者の皆さまを支援するため、種類株式・劣後ローンを組み合わせ、資本・リスクマネーの供給をはかります。

当行は、本ファンドを通じた取組みにより、今後も事業者の皆さまと持続可能な地域社会づくりや地域貢献、地方創生に資する活動に積極的に取り組んでまいります。

○本ファンドの概要

名称	十六ともに未来投資事業有限責任組合	
組成額	10億円	
出資者・ 出資金額	株式会社十六銀行（有限責任組合員(LP)）9.0億円	十六リース株式会社（無限責任組合員(GP)）1.0億円
組成時期	2020年5月末（予定）	
出資(存続)期間	10年	} *いずれも必要に応じて延長を行うことがあります。
投融资期間	3年	

<スキームイメージ図>



以上

【本件に関するご照会先:経営企画部ブランド戦略室 TEL 058-266-2512】